

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和元年度第4回定例会
開催日時	令和元年7月24日(水) 18時30分から21時まで
開催場所	柳沢公民館 第1会議室
出席者	委員：小野修平、西原みどり、伊尻由起、伊藤邦子、遠藤修、大内俊、渡部國夫、大友禾弘子、小林道子、高井正 職員：高田館長、國府方館長補佐、山本分館長(田無)、等々力分館長(芝久保)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野主査
欠席者	委員：伊藤正明、小沼純子、山本一幸、倉持伸江
議題	<p>1 議題</p> <p>(1) 審議事項</p> <p>ア 令和元年度公民館主催事業計画書について</p> <p>イ 利用者懇談会について</p> <p>(2) 協議・確認事項</p> <p>ア 公民館運営審議会会議録の記録方法について</p> <p>イ 公民館事業評価2次評価の進め方について</p> <p>(3) 報告事項</p> <p>ア 第3回定例会の会議録(案)について</p> <p>イ 行政報告</p> <p>(ア) 事務事業評価について</p> <p>(イ) 教育委員会事業評価について</p> <p>ウ 公民館だより編集室報告</p> <p>エ 市民企画事業について</p> <p>オ 保育員募集について</p> <p>カ 都公連委員部会報告</p> <p>キ 令和元年度公民館主催事業報告書について</p> <p>2 事務連絡及び情報交換</p> <p>(1) 関東甲信越静公民館研究大会について</p> <p>3 その他</p>
会議資料の名称	<p>【資料】</p> <p>令和元年度第4回定例会次第</p> <p>資料1 令和元年度公民館主催事業計画一覧</p> <p>資料2 利用者懇談会一覧</p> <p>資料3 第3回定例会会議録(案)</p> <p>資料4 令和元年度公民館主催事業報告一覧</p> <p>【参考資料】</p> <p>参考資料1 令和元年度公民館主催事業計画書</p> <p>参考資料2 令和元年度西東京市公民館事業評価表</p> <p>参考資料3 西東京市公民館市民企画事業実施要綱及び関係資料</p> <p>参考資料4 西東京市公民館保育員設置及び取扱い要綱</p> <p>参考資料5 令和元年度公民館主催事業報告書</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 1名

会議内容

1 議題

(1) 審議事項

ア 令和元年度公民館主催事業計画について

○館長補佐及び各分館長より資料説明…「資料1 令和元年度公民館主催事業計画書」

○会長

質疑のある方。

○F委員

参考資料を見るとサークル化を促すものと、そうでないものがある。サークル化を促すかどうかは基準があるか。

○館長

サークル化の基準は特にない。サークル化は連続講座でないと難しい。企画者はサークル化に向けて工夫はするが、自主的な動きで決まる。計画書にサークル化について書かれているものといないものがあるのは担当者によるもの。概ね自主的な学びの支援は心がけて行っている。

○F委員

柳沢公民館「女性の為の講座」の講師に「西東京市健康課理学療法士」とあるが、正規職員に理学療法士がいるのか。健康課の職員が講師なのか。

○館長補佐

柳沢公民館「女性の為の講座」の講師である健康課の理学療法士については、正職員か嘱託員かは現段階では確認できていない。

○F委員

芝久保公民館「さすまた講習会」について。さすまたでどこまで防犯対応が可能なのか、メディア等からの情報を得て疑問を持っている。これまでに公民館で防犯に対する訓練はされているのか。全庁的にはどうか。

○館長

知る限りでは平成26年頃納税課職員、警備員、田無警察署で訓練を行なっている。さすまたをどう使うことが効果的か、周りの人間はどう動くか、警察からアドバイスを頂いた。見えるところに置いておくと抑止力にもなる。

○H委員

さすまたは全館に配布されているのか。

○館長

芝久保公民館のみ。

○E委員

さすまたの活用も必要かもしれないが、さすまたの機能の限度も教えるべき。公民館は入りやすく逃げやすい犯罪が起りやすい施設であると思われる。一番大切なのは公民館に不審者が入った時にどうやって逃げるか防犯の意識を持つべき。施設の防犯について検討して欲しい。

○分館長（芝久保）

さすまたは防犯上の一つのツールとご理解頂きたい。もしもの時の対応について田無警察署の方の講義も行う。

○会長

意見を基に講座内容を再度検討して欲しい。防犯対策の見直しは6館で取り組んで欲しい。

○F委員

駅前公民館「0歳からのコンサート」について。赤ちゃんから生の音を聞かせてあげられる機会がある事はとても良い。今回の講師は「西東京市在住の3人組」というのも良い。どなたにお願いするかというのは、講師登録リストから選んだのか、広く募集をかけたのか。こもれびホールで音大を卒業したばかりの新人アーティストのコンサートをやってたりしているので連携されているのか。

○分館長（保谷駅前）

コンサートの講師については、この辺りだと、東京音大、武蔵野音大などに依頼することが多い。今回の講師は、公民館利用者。

○F委員

谷戸公民館の「生きるチカラの育て方」7回目防災の知恵では、余熱調理を紹介する。調理室の無い公民館として工夫されていると思う。

○H委員

「女性のための・・・」と銘打った講座が目立つが働いている男性も来られるような講座や工夫もあると良い。

○館長

西東京市では5館が保育付講座を行っているので、子どもを持つ若いお母さん対象の講座が多くなっている。それ以外の一般講座については、教育委員会でも「男性が参加できる企画を」ということは言われているので今後意識をして取り組んでいきたい。

○F委員

ひばりが丘公民館の「毎日がアルツハイマー」の上映会と「高齢者の課題を考える講座」映画を上映して連続講座につなげる仕掛けは良いと思った。上映会の副次的効果に「日ごろ公民館を利用しない方に公民館を知ってもらう機会とする」とあるが、公民館を知ってもらいたいなら広報にももっと工夫が必要であると思う。

○会長

ひばりが丘公民館「高齢者の課題を考える講座」について。一昨年講師をさせていただいた。ひばりが丘公民館は準備会の活用が上手。準備会の意見交換の声を今年の講座の内容に反映させたのだと思った。サークル化するなど来年、再来年この講座の展望があれば聞きたい。

○館長補佐

7月1日に、前年度参加者4人と準備会を開いている。その中で様々な意見が出された。上映会「毎日がアルツハイマー」とつながるように企画された。サークル化するかどうかはわからないが意図しながら企画は進めている。

○H委員

映画を見て講座に繋ぐ取り組みは良い。介護休業を取る男性、介護退職をする男性が増えている。学習目的は「学習・自己実現」であるが、そのような方々の交流にもなるのでは。人と話し合うことは介護をかかえている人のケアにもなる。働いている方等昼間参加しにくい方にも機会があると良い。

○会長

様々な角度から公民館だからこそできる視点で実施して欲しい。

1 議題

(1) 審議事項

イ 利用者懇談会について

○館長補佐

利用者懇談会一覧に沿って説明

○会長

可能な日程で各館の利用者懇談会に出席し、出された意見などを公運審の時に持ち寄って欲しい。

1 議題

(2) 協議・確認事項

ア 公民館運営審議会会議録の記録方法について

○館長補佐

西東京市市議会会議録及び教育委員会会議録は全文記録で発言者も記載されていた。今年の4月現在市内の協議会や審議会等教育委員会など市民が付属機関の委員として入っている会議が52あり、半分くらい調べたところ記録方法は全て要点記録。発言者の記載方法は別紙記載例の通り。事務局側としては、館長、館長補佐、分館長、主査と記載させて欲しい。前回の記録(案)は要点記録とし、個人名を記載してお送りしている。

○会長

全文記録か要点記録かの確認を。名前については、記載がないと、自分の発言をチェックしにくいので、(案)については記名とし、公開用については、個人名を記載せず、A、B、C委員としたらどうかという提案である。

○F委員

会議録の記録方法について、全庁的な調査をしていただいたことはご苦労をおかけした。感謝申し上げます。しかしながら、他所がどうしているかというより、市民参加条例に則り、公運審としてどのような会議録を作成して、市民に公開していくことがふさわしいのかという視点で議論していくことが必要と考える。要点記

録、全文記録、記名、A、B、C記載などメリット、デメリットを検証していると思うので説明して欲しい。個人的には名前の公開はかまわない。審議用と公開用の記載を変えると事務的負担が増えないか。

○会長

記名であると発言がしづらくなる可能性がある。そのことを踏まえこのような形の提案になった

○副会長

全体の流れの中でその理論が整合性を持ってまとめられているかを追う時に簡略すぎると読んでいても分かり難い。自分の発言が載ることも載らないこともあるが、公民館の判断で良い。自分のところはよく読みこんで主旨とあっているかは確認して責任を持つことができるというのがメリットである。公開された場合のA、B、Cはその会ごとに事務的に振る。

○会長

同じように「委員」と羅列するより議事録の中の発言のキャッチボールがどの様になされているかが記名やA、B、Cだと分かりやすい。

○D委員

A、B、C…の委員はサブジェクトごとに変わるのか、1回の議事録の中では変わらないのか。

○館長

1つの会議、1回の議事録の中では変わらない。

○B委員

「委員」だけでも良いのでは。我々は一市民の代表。皆同じ目的に対して委員として意見を述べているので誰が発言したかは必要ないのではないか。誰の発言か追及する必要があるのか。自由に発言するのが公運審ではないのか。意見を言った責任はあるが、そこまで公開する必要があるのか。発言がしにくくはならないか。

○A委員

現段階では良いが、議題によっては名前が入るのであれば発言を控えようということも起こる可能性がある。

○H委員

名前を出さないほうが良いというのであれば、そこは尊重し、間を取ってA、B、C委員でよいのでは。A、B、Cとしたほうが議論がつながってくる。A、B、Cと入れても自由に発言できるのではないか。

○C委員

第三者が読んだ時、記号をつけていても誰であるか特定しようとは思わない。あまり関係が無いのでは。

○副会長

議事録を読むと、A、B、Cのほうが会議の雰囲気や流れが良くわかる。「委員」だと欠席した時会議の流れが分かり難い。読む側にとっては指標があるほうが分かりやすい。

○D委員

今この場で決めず、議論が必要なのは。

○会長

記録方法は要点記録。確認用の会議録(案)は記名。

○各委員

賛成

○会長

公開用会議録の委員をA、B、C委員と記載するか、「委員」とだけ記載するかについては、次回検討とし、今回については、今まで通り公開用会議録は「委員」とする。

1 議題

(2) 協議・確認事項

イ 公民館事業評価2次評価の進め方について

○館長

公民館の事業評価の経緯については5月の定例会に配布された答申に記載されている。この答申は現状の評価の見直しと事業計画の有り方についての提言がされておりこれを受けて今年度中に新たな評価表を作成するがこれから評価していただく平成30年度の事業評価については現状の評価表を用いて行なって頂く。

公民館の一時評価は平成29年度評価で課題とされ指摘された事項、平成30年度公民館重点施策を捉えたかどうかの視点をもとに行なった。公運審委員の皆様には二次評価を行って頂く。

○会長

評価をするにあたり別途会議を持ちたい。スケジュールとしては、次回定例会でほぼ内容の埋まったものを提出し、欠席の方にはご意見を頂く。その後必要に応じて再度集まり9月の定例会で承認する。今後の会議予

定は7月26日、8月14日、8月26日。

○E委員

平成30年度の評価をするのか。今までの経験をもとにやるのか。

○会長

例えば「プロセス重視の運営」については準備会、実行委員会をどのような講座で実施したかということ公民館に質問してまとめていくなどの準備をしたい。

○H委員

公民館が作る一時評価が妥当かどうかを評価するのか。この文章だけを元に評価するのか。この文書以外の資料は。

○事業係主査

付属資料としては30年度事業計画書、報告書をお渡しする。また例えば、協働や実行委員会方式の事業はどのようなものがあるか等ピックアップして具体的にどのような事業を対象にしたか分かった方が良いものについてはリストを作っている。学級講座については、集計表が記載された事業計画書、報告書裏面を提出する。

○館長

事務報告書も参考になる。カテゴリ別資料等わかりやすいものをお渡しする。

○会長

初回内容を議論し、進め方を検討したい。7月26日までに資料を読み込んで欲しい。

○F委員

評価内容の実績の推移を示して欲しい。事業評価開始である平成26年度事業から見られると良い。

1 議題

(3) 報告事項

ア 第3回定例会の会議録(案)について

○館長補佐

訂正箇所について

P2の4行目 大拙→大切 P5の2事務連絡他イ 火災→開催

○A委員

P4. 1議題(2)報告事項ウ2行目、3行目、12行目伊藤(那)→伊藤(邦)

1 議題

(3) 報告事項

イ 行政報告

(ア) 事務事業評価について

○館長

7月3日、第2次評価に向けてのヒアリングが行われた。

指摘事項

- ・視聴覚事業について。映画の視聴のみになっているが、地域住民の交流や課題学習への参加をうながすような工夫を。一部事業が委託によって実施されているがその必要性においても改めて検討する余地がある。
- ・公民館だよりについて。広報活動費について全体の3分の2を配布委託料が占めており事業全体的な効果を検討する必要がある。編集、確認作業に多くの時間がさかれており、職員人件費なども含めた事業コストが高い。負担軽減の視点からコスト意識をしっかり持って他市を参考に発行頻度や他の広報との共同発行など新しい手法を早急に検討する必要がある。

8月1日に第2次評価結果が記載されたシートを公開しパブリックコメントを行う。

(イ) 教育委員会事業評価

○館長

7月5日教育委員会事務事業に関する点検評価会議の1回目が行われた。教育委員が教育委員会が作成した平成30年度の点検評価報告書の案について委嘱を受けた3名の委員が各館の対象事業のヒアリングを行う。公民館の対象事業は二つ。一つ目は青少年対象事業の充実。柳沢公民館「作詞・作曲ワークショップ」保谷駅前公民館の「あつまれ！みんなのけいおん講座」この二つをもとに評価表を作成しそれについてヒアリングがなされた。二つ目は障害者が参加できる事業の充実。柳沢公民館にくるみ学級、田無公民館にあめんぼ青年学級があるが学級以外に障害者も障害者でない人も共に参加できる初年度の取り組みとして保谷駅前公民館の「ZUMBA&夏のスイーツづくり」及び今年度実施の「柳沢ディスコ」の実行委員会の二つをまとめた評価表を

作成した。障害の方はコメントはなかったが青年対象事業について「なかなかかわりの薄いところに対して興味深いテーマを考えてやっている。非常に良いテーマ。できれば若者が興味のあるスポーツなどもテーマに取上げてみてはどうだろうか」という意見が出た。

○F委員

パブリックコメントを行っていることを知る市民は、残念だがあまり多くないと思われる。職員が事業を点検し、パブコメにもかけているということを知らせたほうが良い。公民館は自治する市民を育む場所。公民館が評価対象になっているかどうかに関わりなく、市民が意見を提出できる機会があることを、公民館が主体的に知らせてほしい。

○G委員

スポーツに関する取り組みはスポーツセンター等が対象ではないか。

○館長

「若者が参加しやすいテーマを選んではどうか」という意図であると思われる。

1 議題

(3) 報告事項

ウ 公民館だより編集室報告

会議録に沿って報告

○C委員

市報配布と同時に配布しても配布委託料はかかるのか。都公連で他市に確認したところ市報掲載や町内回覧等で対応している。全戸配布はあまりなくすばらしい。事務事業評価の指摘事項はコストに対しての指摘だが。

○E委員

市報同時配布でも公民館独自で配布委託料がかかる。

○館長

事務事業評価を受けるにあたり公民館だより 26 市で公民館があるところにはすべて聞き取り調査をしている。全戸配布をしているところはほとんどない。募集記事などは市報に掲載しているケースが多い。職員の人件費については人件費の削減というだけでなく毎月の全戸配布は非常に負担が大きい。この職員の労力も含めての事業評価となっている。

○会長

他市の公民館だよりを見比べてみると良いのではないか。

1 議題

(3) 報告事項

エ 市民企画事業について

○事業係主査

参考資料に添って説明。

1 議題

(3) 報告事項

オ 保育員募集について

○分館長（谷戸）

資料に添って説明。

○館長

柳沢公民館保育員が2名退職し7月1日市報にて募集を行なった。7月27日（土）面接試験を行なう。9月1日採用となる。

○H委員

勤務日、報酬は。

○館長

1時間1,150円。 保育付事業のある平日午前3時間。研修有り。館によっても異なるが週2回程度。

1 議題

(3) 報告事項

カ 都公連委員会報告

○C委員

令和元年度第4回委員部会運営委員会（定例会）次第に沿って報告。

○会長

9月7日都公連研修参加希望者確認

小野会長、西原副会長、高井委員、伊尻委員、大友委員、遠藤委員

1 議題

(3) 報告事項

キ 令和元年度公民館主催事業報告について

○館長補佐

資料に添って説明。

質疑なし

2 事務連絡及び情報交換

(1) 関東甲信越静公民館研究大会について

○分館長（保谷駅前）

資料に添って説明。

3 その他

○D委員

議題に可能であれば資料番号をつけて欲しい。

○副会長

事業計画、報告は資料（一覧表）と参考資料の二通りあるが、両方見なくてはならなくなるので、一覧表は必要ないのではないかと。将来的にまとめて確認する時一覧表が役に立つとは思いますが。毎回出さなくても良い。

○館長

ホームページには一覧表のほうが掲載されるので配布している。参考資料だと膨大な量になる。参考資料の方を確認して意見を頂ければよい。傍聴の方には参考資料を配布している。

○事業係主査

ホームページについて。以前は、会議録のみの掲載で良かったが、当日資料も掲載すると変更になった時に詳細な参考資料まではアップできないということで簡略化したものを作成するようになった。会議資料であるというところが大切なので、簡略化した一覧表も配布している。

○F委員

参考資料を公開すると膨大な量になるというが、もっと多いところもある。職員の個人名は掲載しなくて良いが、ホームページ掲載資料については検討して欲しい。

○会長

この件は持ち帰りとする。

○分館長（田無）

田無公民館ものがたり配布

次回開催について

日時 令和元年8月28日(水) 午後6時30分～

場所 柳沢公民館第一会議室